

## 二十歳の感想文

佐藤 賢司



私は、2月に誕生日を迎え20歳になります。18歳成人となり、まだ成人したという実感はなかったのですが、20歳を迎えるにあたり、成人することの責任感がより一層増しました。幼稚園児の頃から中学生のときまで人数が少なく全く同じだったクラスメイト、もうみんなも立派な大人になんだ、と思うと中学生の頃までの記憶がよみがえってきます。あんなに生意気な集団であんなに先生方に迷惑ばかりかけていて、けれど、中学生になったとき少しずつ大人の考えを持ち始め、卒業式の時にみんなで泣いたことを鮮明に覚えています。今みんなは何しているのかな、そんなこと思っていたらもう20歳。社会人、大学生、専門学生などみんなそれぞれのところで頑張っているに違いないと思います。

私は、現在専門学校に通っていますが9月、10月に公務員試験を受け3つの機関から最終合格をいただき、4月から公務員として働くことになる予定です。より一層責任感を持って過ごすこととなりますが、たくさんの人に必要とされる人材に

なれるよう日々精進します。専門学校では、公務員になるため日々勉強し、苦手なところをなくすこと、得意分野を伸ばすことを意識して取り組み、2年生になってからは、模試は週に3回、毎日夜の20時まで残って勉強して内容の濃い1年を過ごしました。時には、諦めかけたことがありましたが共に勉強した仲間がいたおかげで走り抜けることができました。

この20年間たくさんの思い出があります。これからの人生もっともっといい思い出を作れるように内容の濃い時間を過ごしていきたいです。

コロナ禍で自由があまりなかった年代ではありますが、絶対に忘れないようにし、自分だけがつらい訳ではないこと、自分にできることをいかに表現できるかなど、学んだことを社会に出て活かしていきたいです。

同級生の皆さん、改めて成人おめでとう！